

琴・茂木地区 地域づくり計画

3つの郷づくり



琴の大イチョウ

① 災害に強い郷づくり

② 自然・資源・伝統文化を
守り育てる郷づくり

③ 声かけ・ふれあい・
助け合い溢れる
郷づくり



茂木浜海水浴場

平成30年3月 琴・茂木地区

目 次

1. 地区の概要	1
2. 地区の現状		
① 地区の人口の推移	2～3
② 地域の主な名所、施設	4～7
③ 地区の年間行事	8
④ 地区の組織	9
3. 地区の課題と今後の取り組み		
○ 雇用、交通、自然・環境、伝統・文化	10～12
4. 地区防災マップ	13



4月 【琴崎神社祭典】



8月 【精霊流し】

1. 地区の概要

① 地区の概要・人口の推移

琴・茂木地区は、対馬島北部の町、上対馬町の東海岸南部に位置し、古くから漁業を中心としている地区である。

近年、高齢化や後継者不足のため、漁業に従事する人は減少しているが、甘鯛の漁を中心に、漁業の再生に取り組んでいる。

琴地区には「琴の大イチョウ」と呼ばれ、推定樹齢が1500年と言われるイチョウの大木が植生し、琴地区の大部分にその根を張り巡らせており、言わば琴の土台を担い、子供からお年寄りまで、地区住民の交流や憩いの場となっている。

対馬紀事には、「沖より見れば茂りて山のごとし」と記述され、1798年(寛政10年)には落雷に遭い、幹が裂けて焼け焦げ、中は空洞となっている。

本イチョウは地区の象徴であり、旧琴小中学では、「イチョウ」が校章として用いられていた。

また、茂木地区には良質な天然の砂浜で、見事なロケーションの「茂木浜」があり、学校の遠足や海水浴場として古くから愛されてきた。

さらに、茂木地区には、日本とロシアとの日本海海戦のおり沈没した、ロシア船「ナヒモフ号の砲台」や、記念碑が設置されている。

隣接地区は、北は舟志地区、五根緒地区。南は芦見地区。西は瀬田地区に接し、対馬の空の玄関口、対馬やまねこ空港まで自家用車で1時間。北の玄関口比田勝地区までは30分を要する。

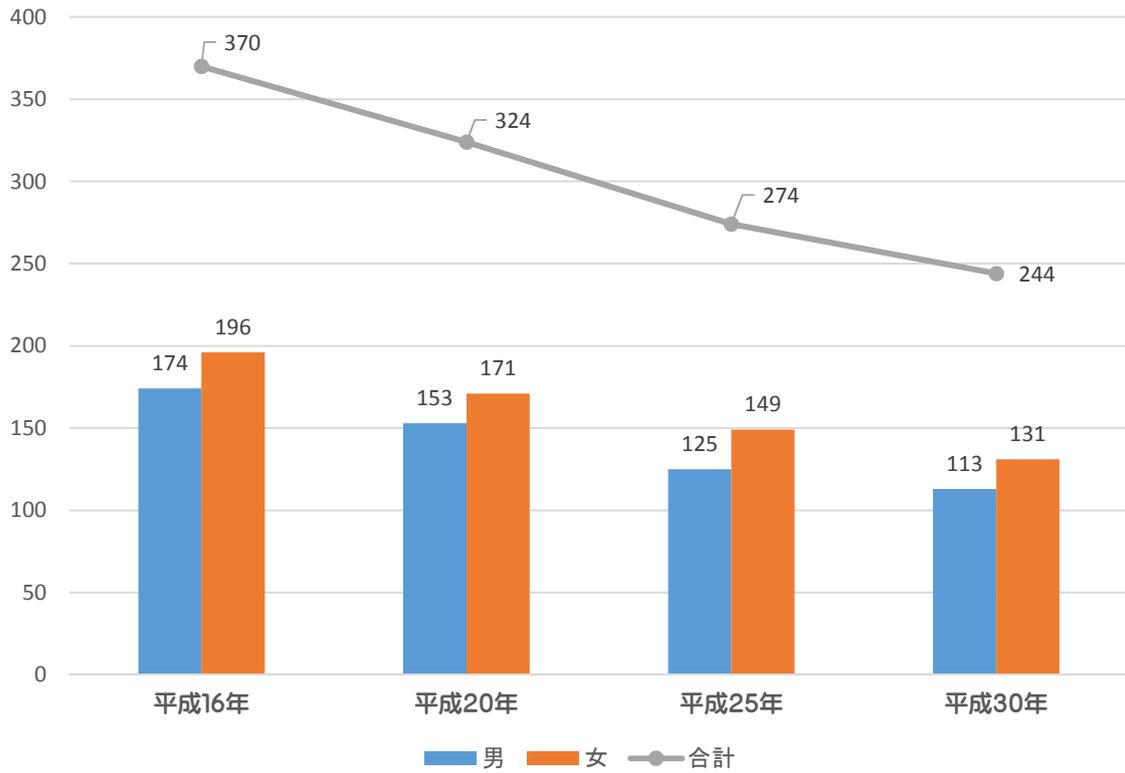


2. 地区の現状

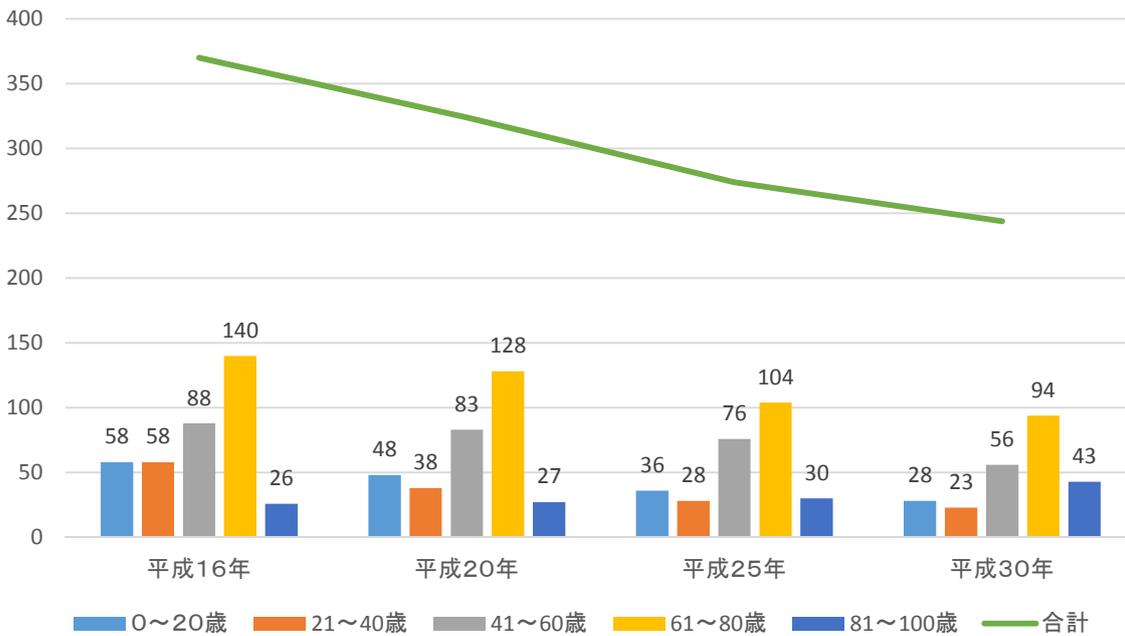
① 地区の人口の推移

	年齢	平成16年		平成20年		平成25年		平成30年	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
男 性	0～10歳	18	10.35	10	6.54	6	4.80	7	6.20
	11～20歳	13	7.47	15	9.80	10	8.00	8	7.08
	21～30歳	11	6.32	4	2.61	7	5.60	7	6.20
	31～40歳	15	8.62	13	8.50	5	4.00	6	5.31
	41～50歳	20	11.49	18	11.76	15	12.00	11	9.73
	51～60歳	26	14.94	27	17.65	23	18.40	19	16.81
	61～70歳	36	20.69	25	16.34	18	14.40	22	19.47
	71～80歳	25	14.37	31	20.26	32	25.60	20	17.70
	81～90歳	10	5.75	8	5.23	9	7.20	12	10.62
	91～100歳	0	0.00	2	1.31	0	0.00	1	0.88
	計	174	100.00	153	100.00	125	100.00	113	100.00
女 性	0～10歳	15	7.66	8	4.68	9	6.04	7	5.34
	11～20歳	12	6.12	15	8.77	11	7.38	6	4.58
	21～30歳	14	7.14	8	4.68	7	4.70	4	3.05
	31～40歳	18	9.18	13	7.60	9	6.04	6	4.58
	41～50歳	20	10.21	13	7.60	16	10.74	13	9.92
	51～60歳	22	11.22	25	14.62	22	14.77	13	9.92
	61～70歳	40	20.41	34	19.89	21	14.09	26	19.85
	71～80歳	39	19.90	38	22.22	33	22.15	26	19.85
	81～90歳	13	6.63	17	9.94	18	12.08	28	21.38
	91～100歳	3	1.53	0	0.00	3	2.01	2	1.53
	計	196	100.00	171	100.00	149	100.00	131	100.00
男女合計	370		324		274		244		
平均年齢	50.8歳		54.0歳		55.3歳		58.1歳		

琴地区 人口の推移(男女別)



琴地区人口推移(年代別)



② 地区の主な名所・施設

○ 琴の大イチョウ

琴地区の中心部に植生し、推定樹齢1200年とも1500年ともいわれ対馬の地搦歌(じつきうた)には、「琴のイチョウの木対馬の親木(おやき)、胴の回りが三十と五尋」と歌われてきた。

その幹回りは12.5mで、樹高は約23mに達する雄株である。昭和36年11月24日県指定天然記念物に指定され、【日本最古のイチョウ】との研究報告もある。落雷や火事の延焼等により幹は空洞となっているが、今も青々とした葉を茂らせ、その生命力は地区のパワーの源となっている。

旧琴小中学校時代には校章にも使われており、琴地区のシンボルであり、地区住民の世間話の場、憩いの場として親しまれ続けている。

(写真は、表紙に掲載。秋には葉が黄金色となり、その様もまた素晴らしい。)

○ 茂木浜

天然の砂浜で、遠浅であるこの砂浜は、見事なロケーションの海水浴場であり、休憩棟やシャワー室・トイレ等の施設もある。

琴・茂木の子供たちの海水浴場としては勿論の事、砂浜も広く遠浅のため、小さな子供を連れた家族には、最適な海水浴場と言える。

以前は、ウミガメも産卵に訪れていたが、近年はその姿は見られなくなってしまった。

琴・茂木地区の住民には、子供のころから慣れ親しんだ、愛着ある海水浴場である。

(写真は、表紙に掲載)

○ 琴崎神社(胡録神社)

琴地区郷ノ浦から、山道を歩いて20分程の海岸線に鳥居を構え、階段で山へ上がったところに神社がある。

海から船で見る景色は、荘厳で神秘的であり、旧暦の3月3日に祭典が執り行われ、誕生後、初めて祭典を迎える子は、親や祖父母に抱かれて、お参りする慣わしが今も続いている。

年1回の祭典の準備は、地区世帯を2つに分けて、各世帯1人以上の参加と、地区消防団も加わって、神社や参道の清掃、草刈り、しめ縄づくりと設置、旗立を交互に行っている。

祭典後に、家・船・身・交通安全のお守りが販売され、地区民の1年間の健康と安全を守ってくれている。



○ 胡録御子神社

正月元旦の祭典や厄払い。また旧暦10月の神無月には、御出船(旧暦9月29日)、御入船(旧暦10月30日)と言われる行事があり、御入船の翌日(旧暦の11月1日)に祭典が行われている。

琴崎神社と並んで、地区の重要な神社として崇められている。
(郷ノ浦)



○ 金比羅様

春(旧暦3月10日)と秋(旧暦10月10日)の年2回祭典が行われ、秋の祭典は神主にお願ひし、海の神様、五穀豊穰、大漁祈願、商売繁盛を願って、漁業関係者を中心に参拝している。

(琴バス停(スクールバス車庫兼)背後の山の中腹にある。)



○ 恵比寿様

金比羅様と同日に、お供え物をして参拝している。

(ガランと持永の間にある)



○ 大江神社

旧暦6月1日にお供え物をして、参拝している。

(郷ノ浦の胡録御子神社の先にある)



○ 長松寺

地区にある曹洞宗のお寺であり、檀家で施設や行事の運営・管理を行っている。

現在は、地区専属の住職は不在であるが、隣地区の住職が兼務で仏事を執り行っている。

長松寺に保存されていた、般若心経の経本は平成23年6月27日に国指定の重要文化財に指定された貴重なもので、数年かけて経本の修理を行い、現在は長崎県立対馬歴史民俗資料館で保管されている。（琴の大イチョウの奥にある）



○ 琴住民センター

琴地区の集会施設で、避難所にも指定されており、平日の午前中は、事務員が勤務している。

地区総会や評議委員会、公民館運営委員会の開催や地区行事の準備品の保管等地区民の様々な活動に広く利用されているが、施設の老朽化が激しく雨漏り等も近年酷くなっており、活動にも制限がかかるため、早急な整備を行い区の活動拠点として利活用の幅を広げていく必要がある。



○ 琴郵便局

琴地区にある貴重な金融機関であると共に以前あった対馬市役所の出張所が行っていた住民票等の交付業務も請け負っている。

高齢者や、一人住まいの人に優しい機関であり、地区住民の交流の場にもなり、一番身近で親しまれている。



○ 上対馬南漁業協同組合

漁業者にとって無くてはならない組合であり地区の活性化に欠かせない漁業の発展に尽力している。

琴地区は、甘鯛の漁を行う漁師を中心に、定置網や、鯖漕ぎ、サザエ網、潜水器漁業等が営まれている。



○ 琴消防分団(対馬市消防団上対馬第14分団)

平成30年4月1日現在で、分団長以下12名で琴・茂木地区民の安全のため、月1回の定例点検や消防出初式、夏期・秋季訓練等を行っている。

また、12月には、電球をつけた「火の用心」の看板を設置しており、地区民の火災予防への意識向上に一役かっている。



○ 琴駐在所

琴に駐在所があり、琴から小鹿までを管轄地区として、地区の犯罪や災害等の予防に尽力し、高齢者の一人住まい世帯等への声掛けや、地区パトロールを実施して、地区民の安心・安全に気を配っている。



○ 旧南陽中学校

琴・芦見・一重・小鹿地区の中学校として建設されたが、生徒数の減少により、平成22年度末で閉校となり、現在は、琴老人クラブがグラウンドを管理・使用しており、体育館は統合先の東部中学校の第2体育館として、部活動に利用されている。

また、避難所にも指定されており、建物はしっかりしている事から、地区住民も、この建物の利活用を望んでいる。



○ 持永公園

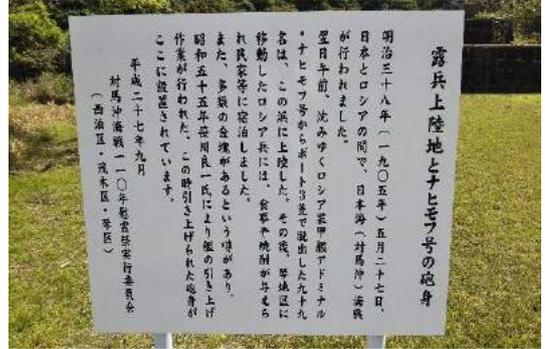
琴地区に設置されている公園で、地区の子供の遊び場や、区民の憩い、集いの場となっている。



○ ロシア兵上陸地の記念碑・ナヒモフ号の砲身

明治 38 年 5 月 28 日 日本海海戦で敗れ沈没したロシア艦隊の戦艦アドミラル・ナヒモフ号の乗組員がこの地(茂木地区)に上陸し、そのロシア兵を茂木地区民が食事や焼酎を与え、温かくもてなしたことが語りつがれている。

ここには、生存した乗組員が上陸した記念碑や、1980 年宝探しの時見つけられ海中より引き上げられた砲身が設置されている。(茂木地区、海水浴場駐車場横)



○ 茂木浜海水浴場 休憩棟等施設

茂木浜海水浴場には、休憩棟・トイレ・シャワー室が設置されている。



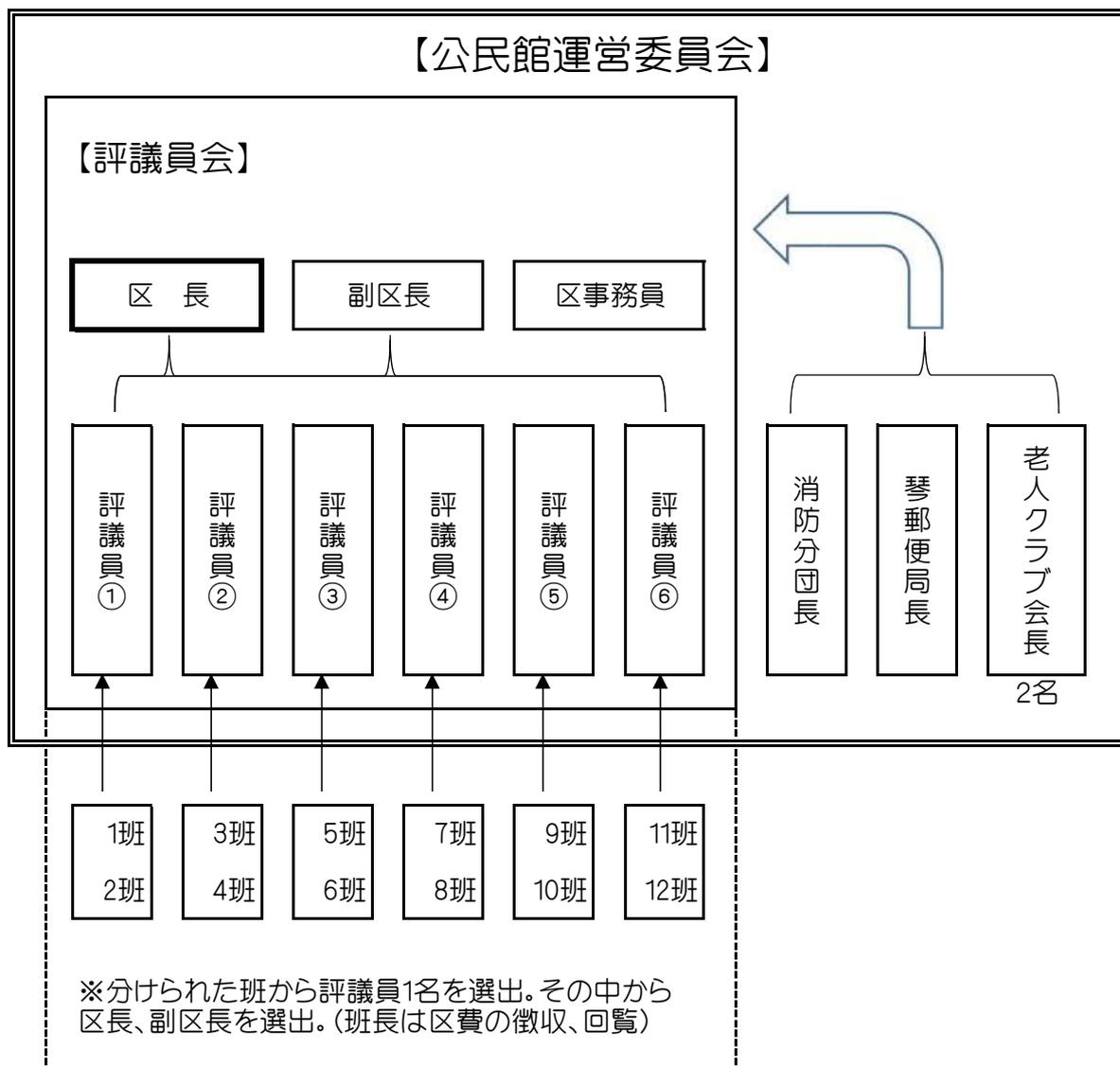
③ 地区の年間行事

月	行事内容	場所	備考
4月	琴崎神社祭典	琴崎神社(胡録神社)	旧暦3月3日
5月	地区グラウンドゴルフ大会	旧南陽中学校運動場	
6月	地区グリーン作戦	区内	6月第1日曜
7月	海開き神事	茂木浜海水浴場	海の日
8月	迎え施餓鬼	長松寺	8月12日
	精霊流し	区内	8月15日夜
	送り施餓鬼	長松寺	8月16日
9月	ソフトボール愛好会ソフト大会	旧南陽中学校グラウンド	秋分の日
	敬老会	区内	敬老の日
12月	胡録御子神社掃除	胡録御子神社	
1月	御堂開、氏子総祈願祭	胡録御子神社	厄払い
	消防出初式	比田勝	1月5日
3月	琴地区総会	琴住民センター	3月末
	琴消防団総会	琴消防詰所	
	琴崎神社掃除	琴崎神社	

【旧暦で行われる行事】

旧暦1月	大般若様	長松寺	旧暦1月23日
旧暦2月	お釈迦様	長松寺	旧暦2月15日
	稻荷神社	稻荷神社(イチョウの木横)	旧暦2月(最初の)午日
旧暦3月	金比羅様、恵比寿様	金比羅様(長松寺の北側の山) 恵比寿様(伽藍と持永の間の道路脇)	旧暦3月10日
	弘法様	長松寺	旧暦3月21日
旧暦4月	お釈迦様	長松寺	旧暦4月8日
旧暦6月	大江神社	大江神社(郷ノ浦、胡録御子神社から防波堤側)	旧暦6月1日
旧暦9月	胡録御子神社 御出船	胡録御子神社	旧暦9月29日
旧暦10月	金比羅様、恵比寿様	金比羅様、恵比寿様	旧暦10月10日
	胡録御子神社 御入船	胡録御子神社	旧暦10月30日
旧暦11月	胡録御子神社祭典	胡録御子神社	旧暦11月1日

④ 地区の組織



【各団体】



2. 地区の課題と今後の取り組み

項目	課題	今後の取り組み		
		対策	取組先	期間
雇用	若者の仕事場がなく、島内に残りたくても残れない。	雇用の場の創設、漁業や農林業のやりがい、魅力を再確認、伝えていく。	市と地区の連携	緊急～長期
	後継者がいない。(主に漁業、農林業)		市と地区の連携	緊急～長期
交通	公共交通が不便であり、病院や買い物通学や通勤等にも自由がきかない。	バス便の増の要望や、地区での乗合便の新設・調整。	市と地区の連携	緊急～長期
	琴～舟志間の道路が狭いうえに、カーブも多く早急な整備が必要。	市への要望により改良。	市	中期～長期
	島外への交通の利便性が悪く、島外からの帰省者の運賃が高い。	空港や厳原港までの交通手段の確保。帰省者等への割引で、子や孫の帰省増につなげ、地域も活性化。	市と地区の連携	緊急～中期
	道路舗装や側溝の老朽化で歩行や車両の通行に支障のある箇所がある。	現状の把握、計画的な改修の要望を行っていく。	市	緊急～中期
	地区内の上対馬豊玉線を通行する車両で、スピードを落とさない車両が多く危険である。	地区内に看板等の設置。市からの呼びかけ等を依頼。	市と地区の連携	緊急
自然・環境	空き家が非常に多くなってきた。	空き家バンクへの登録、見回り・点検等を行う。	市と地区の連携	中期～長期
	琴地区住民センターの老朽化が激しく雨漏りも酷く、使用に支障をきたしているため早急な改修が必要。	雨漏りの箇所が多く、早急な改修が必要、外壁塗装等も含め、市に要望していく。	市	緊急
	空き缶等のポイ捨てや、不法投棄が増えている。	看板の設置等。定期的なゴミ拾いも大切だが、捨てさせない対策の検討。	市と地区の連携	緊急
	耕作放棄地が増える一方。	遊休農地の有効利用法を市と連携して、模作していく。	市と地区の連携	中期～長期
	森林の整備がされなくなっている。	木材の価値は低いが、対馬の自然を維持する観点からも、整備する方法を検討。	市と地区の連携	中期～長期
	琴川の川幅が狭い箇所があり、近年の大雨で河川の氾濫が多く被害を受ける。	河川改修(部分的でも)の要望を行い。拡幅の必要性がある。	市	緊急

項目	課題	今後の取組		
		対策	取組先	期間
自然・環境	イノシシやシカによる農作物や、草花、山の立木の被害が深刻である。	個人毎の柵の設置ではなく、区画全体での柵の設置の見直しや、駆除方法の拡大等の検討。	市と地区の連携	緊急～長期
	洪水や台風時の避難場所や連絡先の徹底が必要。	高齢世帯や1人世帯への見回り声掛け、災害時の手助け体制の確立。緊急時の連絡先や避難所の周知徹底。避難時の備品等の整備をしていく。	市と地区の連携	緊急
	磯場の海藻や貝類が非常に少なくなっている。	市で取り組んでいる施策を率先して実施し、区でも出来ることを見出す。	市と地区の連携	緊急～長期
	伽藍、持永の県営漁港用地のアスファルト舗装。	ひじき等の乾燥場として利用できるよう要望していく。	県への要望	緊急～中期
	砂防ダムに土砂や木が堆積していて、機能を果たせなくなっている。	県や市への要望で、定期的な土砂の撤去を実施する。	県・市への要望	中期～長期
	地区内の排水溝や側溝の設置及び段差の解消。また、老朽化による再整備が必要。	市への要望を行い、計画的に整備していく。	市	緊急～長期
	シカの影響か、山肌に草が無くなっており大雨の土砂等の流出がひどくなっている。	琴区だけでなく、市全体の対策が必要と思われる。市との連携で対策を検討する。	市と地区の連携	中期～長期
	茂木浜海水浴場の整備と有効活用。	海水浴場の維持、周辺環境の整備、観光客に対応できるキャンプ用施設等の整備を市へ要望していく。	市と地区の連携	中期～長期
	旧南陽中学校の施設の利活用。	宿泊施設や、合宿所、区民の集える場所としての活用を市と連携しながら検討し、琴区の活動の中心的な役割を担う施設として利活用を模索していく。	市と地区の連携	中期～長期
	海岸への漂着ゴミが増えている。	原因の究明をし、根本的な解決をしないと、毎年の掃除だけでは、「いたちごっこ」のまま、ゴミはいつまでも無くならない。市と連携し、根本的な解決策を模索していく。	市と地区の連携	中期～長期

項目	課題	今後の取組		
		対策	取組先	期間
伝統・文化	神社やお寺が老朽化してきている。	区民でできる計画的な修理や、補助金等で利用できるものがないか、市への要望も行い維持継続していく。	市と地区の連携	中期～長期
	伝統的な行事や催しが衰退している。	旧3月3日の琴崎神社祭典時の参拝者を増やす取り組みや、区民が大勢参加できて楽しめる行事の計画。	区	中期～長期
	神社の祭典や、維持等を行う人の高齢化。	若者が働ける場の確保で人材を残し、若い世代へ受け継いでいく。	市と地区の連携	緊急～長期

3つの郷づくりに向けての取り組み

① 災害に強い郷づくり

- ・危険箇所や空き家等の調査・把握。
- ・高齢者世帯や一人住まい世帯の把握。
- ・災害発生時の連絡体制の整備。

② 自然・資源・伝統文化を守り育てる郷づくり

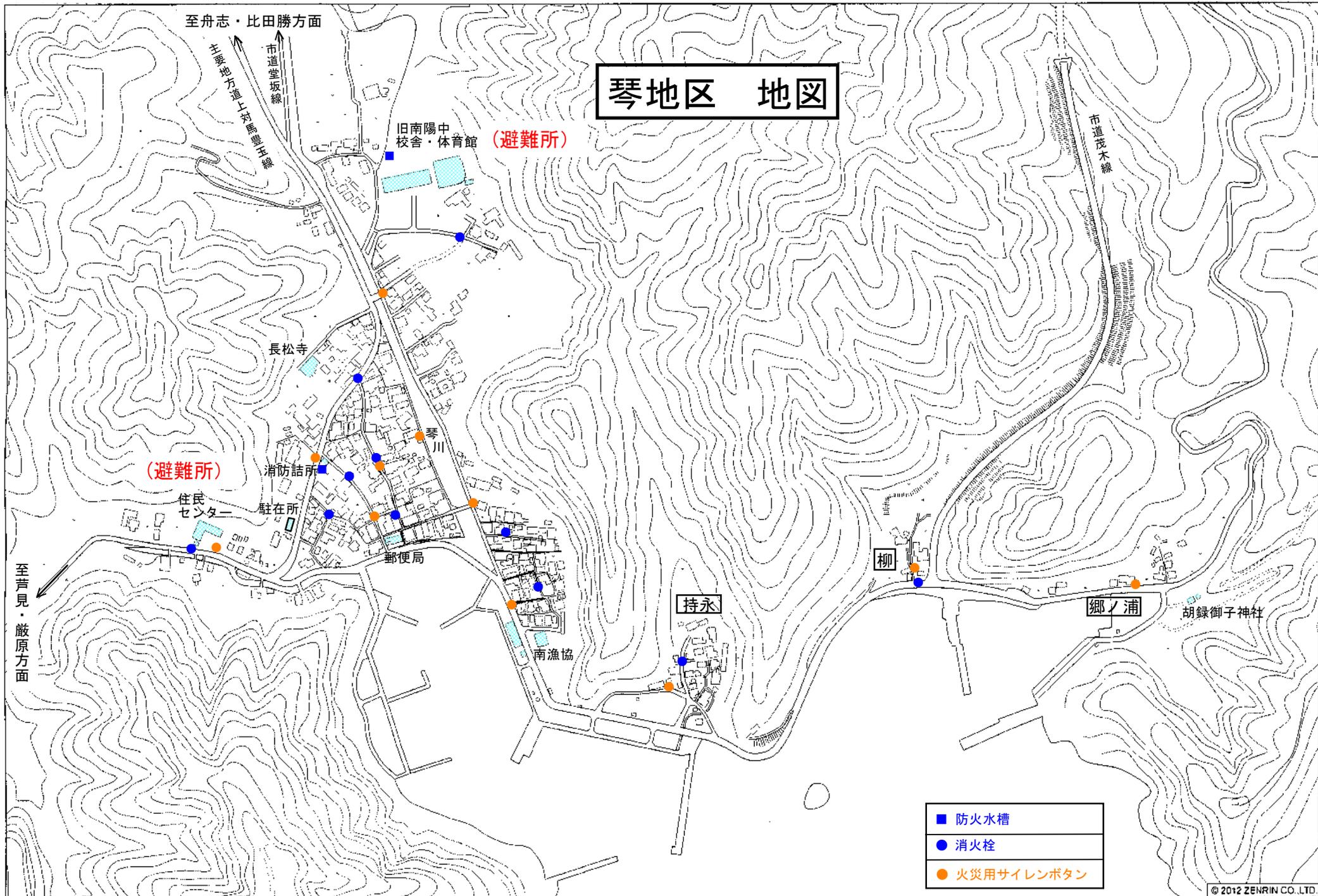
- ・イチョウの木、茂木浜等の貴重な自然・資源を守り、新たな活用方法の模索。
- ・地区の行事、神社の祭典等を継続し、地区民が多く参加できる工夫をしていく。
- ・現在は行われなくなった伝統行事の掘り起し、実施に向けての検討をしていく。

③ 声かけ・ふれあい・助け合い溢れる郷づくり

- ・日頃のあいさつや声掛け。
- ・思いやりと助け合いの気持ちを大切にしていく。
- ・子供から高齢者まで、ふれあえる場所づくり。



住み心地のよい琴・茂木地区づくり



茂木地区 地図

至五根緒



農道五根緒線

あゆみ園

茂木浜海水浴場

市道茂木線

至琴

